

# 新しい年も暮らしを守る先頭に



上野公悦

橋爪法一

平良木哲也

## 激動の2021年から、躍動の2022年へ！

菅から岸田に代わっても、国民生活をないがしろにする国政の私物化体質はなんら変わりません。

しかし、コロナ禍の下で暮らしはますます追い詰められ、「政治を変えたい」という国民の願いは日増しに強くなってきています。

日本共産党議員団は、今年こそ真に市民の暮らしが一番に大切に

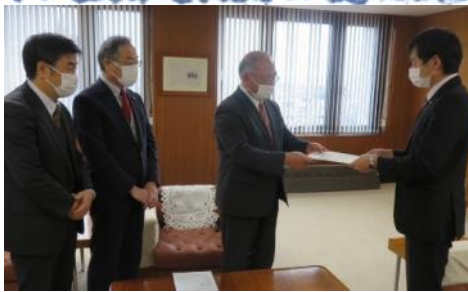
にされる市政に変えていくため、3人で力を合わせて頑張ります。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.735 2022年1月2・9日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

# 7分野118項目の予算要望を市長に提出



日本共産党議員団は12月21日、中川幹太市長を訪ね、来年度予算に関する要望書を直接手渡しました。

市長はこの要望の検討を約束し、その後、議員団と和やかに懇談しました。

要望は7分野118項目。どの項目も、これまでいただいた市民の皆さんの声を中心にした、命を守り暮らしを支えるための切実な願いです。

各分野の主な要望項目は、次の通りです。

## ◇市民が主人公の市政運営

- ・新年度に地域自治区の見直しを行うとしているが、28の地域自治区については、それぞれの歴史と伝統やその地域の特性を活かして、守ること。
- ・「公の施設の適正配置」計画を見直し、ニーズの高い施設は行政が責任をもって維持継続すること。

## ◇新型コロナウイルスの感染から市民の命と暮らし、医療を守る

- ・国に対してワクチンの安定した供給を求め、希望するすべての市民が3回目のワクチンを一刻も早く接種できるようにすること。
- ・無料のPCR検査の対象を市民全体に広げ、福祉・教育関係の職員、関係する事業者の従業員、希望する市民がいつでも何度でも検査を受けられるようにすること。

## ◇原発再稼働を許さず、災害から市民を守る安全安心なまちづくり

- ・柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、すべての原発の廃炉を求めること。国に対して、エネルギー政策の抜本的改革に基づいたエネルギー基本計画の見直しを求めること。
- ・東京電力との間で再稼働等の事前了解権や立ち入り調査権を含む安全協定を締結すること。
- ・道路除雪については、市道に限らず住宅地等で広く一般に供されている道路は民有地であっても市の責任で行うこと。

## ◇市民負担軽減と、暮らしを支える地域経済活性化

- ・介護保険では、一般会計からの繰入れなどにより、第1号被保険者の保険料を全国平均並みに引き下げること。
- ・負担の限界を超えている国民健康保険税を大幅に引き下げること。
- ・住宅リフォーム促進事業及び商店向けリニューアル費用助成事業を条例化し、恒久継続化を図るとともに、市民要望を踏まえて改善を図ること。また、応募者が多数にのぼり予算に不足が生じた際には補正予算措置を講じること。
- ・従業員の正社員化を進める企業へ助成を行うなど、非正規雇用対策

に取り組むこと。特に、市が補助金を出している誘致企業をはじめ、市内の企業に対して、非正規労働者の正社員化を働きかけるなど、安定した雇用のための施策を講じること。

- ・乗りやすく、使いやすいバス交通の確保のために、市内のバス交通への支援を強め、市内循環100円バス、通院100円バスの運行など、高齢者や通学者等にとっての利便性のさらなる向上を図ること。また、郊外の施設へのバス路線を充実させ、イベントなどの際には増便または臨時便を運行すること。
- ・市道の改善要望に十分に答えられるよう、道路改良予算を増額すること。

## ◇地域の基幹産業としての農業振興

- ・農家に対して、下落した米価の補填を行うとともに、所得保障のための施策を実施すること。
- ・農業労働災害対策を抜本的に強化すること。
- ・イノシシ、カモシカなどの鳥獣被害への対策を強めること。

## ◇末永く暮らせる中山間地づくり

- ・中山間地の道路、橋梁の整備や万全な除雪体制の構築をはじめ、基本的なインフラを充実させ、利便性ある暮らしを保障すること。
- ・中山間地の各集落に伝わる伝統行事を保存するための施策を講じること。

## ◇子どもからお年寄りまでだれをも大切にする福祉のまちづくり

- ・児童手当を倍加すること。
- ・子ども医療費助成を拡充し、窓口一部負担を撤廃すること。
- ・公立保育園の民営化は今後行わないこと。
- ・保育料は、給食費を含めて完全に無料にすること。
- ・教育予算を抜本的に増額し、総予算における比率を高めること。
- ・小中学校の給食費を完全に無料にすること。
- ・政府に対し、後期高齢者医療制度をすみやかに廃止して元の老人保険制度に戻すことを求めること。
- ・介護保険事業会計は、必要に応じ一般会計からも補填すること。
- ・紙おむつが必要な高齢者への支給事業における所得制限を撤廃すること。

しんぶん赤旗日曜版1/2号は1/9号との合併号のため、このニュースも1/2・9日付で発行します。